

はじめに

- ベルリン演説へのロシアの反応

1. 条約履行状況とロシアの戦略核戦力の現状

2. ロシアの提起している論点に関する国内議論

(1) ミサイル防衛 (MD)

- EPAA 見直しは「ロシアの懸念を払拭するものではない」
- 「ロシアの核抑止力の効果を損ねないという明確で信頼できる保証」を要求

(2) 非核弾頭搭載戦略兵器

- 戦力整備が進むにつれて目的設定自体が変わりうる
- 「ロシアも同様の兵器開発に着手せざるを得ない」

(3) 非戦略核兵器

- 深刻な地域紛争における主権と領土一体性の最終的保障／精密誘導兵器における劣勢をカバー／ロシアに到達しうる核戦力を持つ第三国の抑止／中国ファクター
- INF 条約違反？：動機の有無、有ならばいかなる認識によるのか

(4) 通常戦力格差

- 「2011 年から 2020 年までの国家装備プログラム」

(5) 多国間協議の可能性

- 「中国の脅威」に関する政治的タブーの緩和
- 中国の核戦力に関するロシアの評価

3. 戦略的安定と新 START 後の核軍縮

おわりに

- ロシアは、少なくともオバマ大統領がベルリン演説で示した形での核軍縮を現実的なものとは認識していない（できない）
- 強い脆弱性認識と対米不信：「米国の狡猾さ」にどう対処するか
- 米露ダイアードからの乖離を含意しうる幅での核軍縮志向が、ロシアの戦略認識や軍事政策に及ぼす影響を慎重に判断していく必要

表 1 : 米露の新 START 履行状況

区分 (条約上限)	2011.2.5		2011.9.1		2012.3.1		2012.9.1		2013.3.1	
	米	露	米	露	米	露	米	露	米	露
配備戦略核弾頭 (1550)	1800	1537	1790	1566	1737	1492	1722	1499	1654	1480
配備戦略運搬手段 (700)	882	521	822	516	812	494	806	491	792	492
配備・非配備戦略 運搬手段 (800)	1124	865	1043	871	1040	881	1034	884	1028	900

出典 : “New START: Fact Sheets” <<http://www.state.gov/t/avc/newstart/c39906.htm>>より筆者作成

表 2 : ロシアの戦略核戦力の構成

内訳	発射機	弾頭
SS-18 ICBM	55	550
SS-19 ICBM	35	210
SS-25 ICBM (移動式)	140	140
SS-27 ICBM (移動式)	18	18
SS-27 ICBM (固定)	60	60
RS-24 (移動式)	18	72
SS-N-18 (デルタ III 級 SSBN)	48 (SSBN 3)	144
SS-N-23 (デルタ IV 級 SSBN)	96 (SSBN 6)	384
SS-N-32 (ホレイ級 SSBN)	16 (SSBN 1)	96
ブラックジャック 爆撃機	13	156
ヘア 爆撃機	59	654
計		~2500

出典 : Hans M. Kristensen and Robert S. Norris, “Russian nuclear forces, 2013,” Bulletin of the Atomic Scientists, 69(3), May 2013, pp. 71-81.
をもとに筆者作成